

## 2020(令和2)年度実績の概要

計画期間5年目となる2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響し、どの分野においても厳しい進捗評価となっています。

### 【新型コロナウイルス感染拡大の影響】

- ・ クルーズ客船の寄港や防災訓練、婚活イベントといったイベントや研修会等の中止
- ・ 飲食店や宿泊客数への影響減少  
外出自粛により、はまごちツープライスの提供数や宿泊客数の減
- ・ 施設利用者数の減少  
図書館や石中央文化ホール、美術館といった集客施設の利用者の減
- ・ 公共交通利用者数の減少  
外出自粛による生活路線バスや予約乗り合いタクシーの利用者の減
- ・ 地域活動の自粛  
地域で集まることができないことから、地区まちづくり推進委員会や自主防災組織の設立数や市民団体の補助事業申請数の減
- ・ 出生数の減少
- ・ 県外へ移動自粛による転出者数の減少

また、第2次浜田市総合振興計画については、2021(令和3)年度、後期基本計画を策定することとなっていることから、様式に【5年間の取組】と【後期基本計画へ向けての考え】を追加し、それぞれの項目における後期基本計画へ向けた市の考え方についてお示ししています。

### 【第2次浜田市総合振興計画掲載目標の進捗状況 記載内容例】

I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】								27項目	
1 水産業の振興									
目標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
沖合底曳網漁業リシップ事業取組統数の増加	3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	○		水産振興課 (漁港活性化室)	
1 ※リシップ事業(リシップ等による収益性回復の取組)を実施した船団数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	—			
<目標達成>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—			
	A	A	A	A	A	—			
【進捗状況】 2017年度に2ヶ統のリシップ実証期間が満了し、浜田地域の沖合底曳網漁船5ヶ統全てのリシップ事業が完了した。									
【今後の取組】 新船の建造に向けて、漁業経営体やJFしまね、県等の関係機関とともに検討を進め、沖合底曳網漁船の維持・存続に努める。									
【5年間の評価】 リシップ工事については、目標となる5ヶ統全てを完了することができた。しかし、本計画期間中に1ヶ統の廃業があり、水揚の確保のために漁船団の存続対策を一層力強く推進する必要性が生じている。									
【後期基本計画へ向けての考え】 リシップ工事後数年が経過し、故障の頻度が増してきており、また、船体自体が建築後30年を経過しており、代替部品の欠品や船体の劣化が進んでいるため、代替の新船の建造が急務となっている。後期計画では、新船の建造に係る項目について盛り込んでいきたい。									